

2019年度 珠洲市立正院小学校 中期学力向上プラン

プラン名 続・ホップステップジャンプとダブルジャンプの二刀流 (県平均・活用力+5p以上)

1 授業づくり

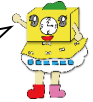
12か条+(プラス)
2条 8条

(1) 現状と課題 (R)

課題	現状（科学的データ）			
前期の取組から活 用力アップ向け て取組を行えたが、 定着したとは、十分 に言えない。 特にB領域におけ る授業の工夫、問題 を解決するための ポイントを、焦点 化し、表現すること が難しい。	2019年度 前期学力向上プラン 授業づくり			
	◎全国学力調査 類問 H28B 5等	6年生	50%以上	
	○活用する力を みる問題	各学年 正答率 前年度同一集団以上	1年 76.7% 2年 76.7% 3年 84.2% 4年 72.6% 5年 87.4% 6年 56.6%	
		全学年 領域別正答率	75%以上	
	・研究授業	3段階B評価以上	70%以上	
	・ダブルジャンプ 問題取組	各学年平均	70%以上	
	・学習アンケート	2 ☆（50）強肯定	70%以上	
	2019年度 前期学力向上プラン 基盤づくり			
	返事をする姿	4月	5月	2学期平均
	相手に伝えようとする姿	6月	7月	
	2019年度 全国学力学習状況調査・県基礎学力調査			
	4年算数	平均正答率 78.4%	2（3）分数の意味と表し方	正答率
	6年算数	平均正答率 64 %	1－（2）（3）図形の構成と筋道と立てた考察	正答率
			3（4）示された除法の式の意味	正答率
	[要因] ○全国学力学習状況調査の類問・活用力をみる問題・ダブルジャンプ問題を通して、活用力向上に取り組むことができた。 △活用力向上に向けた取組を行ったが、定着したとは、まだ言えない。 ○学習アンケートから、児童は、授業と生活をつなげて考えられるようになってきた。 △学習アンケートから、問題解決に向けて、対話を通して、深めることが難しい。 △模擬授業で、児童がつまずくところの協議が明確ではないため、B評価以上の達成率が低い。			

(2) 計画と実行 (P・D)

中期目標	具体的取組		
問題を解決するポイントを焦点化された中から、選択式や短答式について、自分で、表現することができる。	前期①②④を継続しながら、 △→①活用力プリント (活用する力をみる問題集) に取り組む。 △→② <u>どーなつボードに、問題解決するための発問 (選択式か短答式) と、その答えを記載する。</u> →学び5点について、これまでノートやアンケートで書いていたが、振り返りシートに変更する。 →月1回、6限や昼休みに、全校縦割りスタディタイムを実施する。 →研究授業やAシート、集会を利用して、共通実践を共有する。 △→③研究授業は、B領域で行う。 模擬授業で、児童のつまずきやすいところ (ウイークポイント) を明確にし、そのために、本時や単元での手立て (ヘルプポイント) を検討・実施する。		
	②【5年 偶数と奇数、倍数と奇数】 高さが5cmの箱と高さが7cmの箱をそれぞれ積んでいきます。 最初に高さが等しくなるのは、何cmのときですか？ 発等しくなることを求めるには？ 答 5と7の最小公倍数		
評価項目			評価 (結果)
◎県評価問題・活用力	5年生	県平均+5p以上	
◎全国学力調査・類問 H28 B 5等	5年生	6年生平均 54%以上	
○活用する力をみる問題	各学年 学期末 正答率 1学期同一集団以上	1年 81.2% 2年 72.3% 3年 73.4% 4年 72.0% 5年 76.2% 6年 72.6%	
	全学年 領域別正答率	75%以上	
(新) 活用力プリント	各学年 単元ごと 正答率	前回より+5p以上	
・研究授業	3段階B評価以上	70%以上	
・ダブルジャンプ問題取組	各学年平均	70%以上	
・(改) 振り返りシート	2 - (1) どーなつたずねる, 2 - (2) どーなつ話す 各強肯定	70%以上	



(3) 検証と改善策 (C・A)

月	評価項目（誰が、いつ）	結果	改善策
9	☐ 活用する力をみる問題（学担・第4週）		
	☐ 振り返りシート（検証・研修支援、第4週）		
10	☐ 活用する力をみる問題（学担・第4週）		
	☐ 研究授業（全員・24日）		
	☐ 振り返りシート（検証・研修支援、第4週）		
11	☐ 研究授業（全員・20日）		
	☐ 活用する力をみる問題（学担・第4週）		
	☐ 振り返りシート（検証・研修支援、第4週）		
12	☐ 県評価問題（5年生・3日）		
	☐ 振り返りシート（検証・研修支援、第2週）		
	☐ 全国学力調査・類問（指導・研究、第2週）		
	☐ 活用力プリント（検証・研修支援・第2週）		
	☐ 活用する力をみる問題（学担・第3週）		
	☐ ダブルジャンプ問題取組（検証・研修支援・第3週）		

2 基盤づくり

前期目標	具体的取組	評価	
話を最後まで聞く姿と 時間いっぱい取り組む姿を 高める (学校全体・各月85%以上)	- 生徒指導主事が、集会で良い姿の大切さを指導する。 - 児童会運営委員会担当が、委員会活動で月目標に反映させる。 - 学級担任が、強化日（毎週月金）に、児童に自己評価させる。	9月	
		10月	
		11月	
		12月	
		2学期	